

## 1. 夕張映画祭 2011 ACG 部門

アニメーション部門（上映作品 12 作品／内特別上映作品 1 作品を含む）

### ■夕張オーディエンス賞（参加 11 作品中 2 作品）

「秦時明月（秦朝の輝く月）」監督：沈乐平



あらすじ

秦の始皇帝が六ノ国を統一し、中国初の帝政を開始した時期から楚の霸王項羽によって落城させられ滅亡するときまでの 30 年を描いています。作中では、各種の民間伝承的な歴史雑話が織り交ぜられ、現代中国にも深く影響を与えた歴史的人物などが横断的に登場し、伝承の中華古代文化が激しく折り混ざり合い、時代の大転換となる大戦争のシーンも登場します。大変革の時代の中、少年が平民の身分からたちあがっていく過程では、横暴な政権や、邪悪な敵、友情、愛情など悲喜こもごもの場面が多彩に表現されています。

監督紹介：沈楽平

玄机テクノロジー総経理。オリジナルアニメ制作監督、編集、プロデューサー。杭州アニメ協会副会長。2009 年広電総局全国十大優秀アニメ作家。2010 年『添加アニメ風雲榜』中国年間新人 CEO 一位に選出。2010 年、浙江省十大文化新人ビジネスパーソンに選出。2009 年、杭州市文化芸術超優秀貢献賞受賞。2008 年、杭州市成績超優秀テクノロジー賞受賞。

「刺痛我（痛み）」監督：刘健



あらすじ

2008 年末、世界金融危機に直面した中国の加工業者は一夜にして倒産に瀕した。若手サラリーマンの小張もまた仕事を失い、さらに雲露スーパーの警備員に万引きと間違えられ叩かれる始末であった。途方に暮れた小張は街で仕事を見つけることを諦め、ついに農村にもどることを決意するが・・・。

監督：劉健

1969 年、中国江蘇省出身。1993 年、南京芸術学院中国画専攻卒業。2007 年、楽無変ア

アニメーションファクトリー創設。2004年、ニューヨークにて *between past and future*  
**NEW PHOTOGRAPHY AND VIDEO FROM CHINA**。2005年、365集の動画『虫虫』  
(広電総局2005年第一回優秀国産アニメ) 編集、監督。2008年、ASIAGRAPH2008 講演『中国アニメ新世代—劉健監督が描く中国現代社会』。2008年、第12回オランダ国際アニメ映画フェスティバル審査員。